

# 環境基本計画(第三次) 骨子

## ■めざすまちの姿

### 豊かな自然と歴史に育まれ、未来へのちつなぐまち

- ・博多湾・玄界灘や筑紫野の緑、脊振の山々といった恵まれた自然が、まちやそこに住む人びとと調和しています。…………… 人と自然との関係の視点
- ・古来より、アジアとのかかわりの中で継承されてきた歴史や築き上げた文化が、うるおいのある環境とともに、次の世代へと確実に引き継がれています。… 時間的な視点(歴史・将来)
- ・人びとが協力し、資源やエネルギーを大切に使うなど、生きものと共に住める緑豊かなまちづくりに参加しています。…………… 人と人とのつながりの視点(連携・協働)
- ・自然との調和のなかで、人びとが地域を超えてつながり、すべての人びとが地球の恵みをわかちあっています。…………… 空間的な視点(市域外とのつながり)

### ■低炭素のまち

エネルギーの地産地消が進み、温室効果ガスの排出が抑えられたまち

- 市民・事業者による日常的な省エネ行動が浸透しています。
- 再生可能エネルギーなどの普及が進むとともに、自律分散型のエネルギーシステムが構築され、エネルギーが効率的に利用されています。
- 低炭素型の都市構造と交通システムの整備が進んでいます。

### ■自然共生のまち

豊かな自然と共生し、その恵みに支えられ、命をつなぐまち

- ふくおかの多様な生き物や自然環境が保全・再生されています。
- 人びとが、自然からの恵みを持続的に利用しながら暮らしています。
- 生物多様性の重要性への理解が浸透し、その保全や持続可能な利用のために、市民・事業者が一体となって取り組んでいます。

### ■循環のまち

廃棄物等の発生が抑制され、資源が循環利用されるまち

- “ものを大切にする”精神・文化が浸透し、次世代に受け継がれています。
- 資源が地域で循環・有効利用されるしくみが機能しています。
- 市民・事業者の高い節水意識のもと、水資源が有効に利用されています。

### ■快適で良好な生活環境のまち

大気汚染や気候変動に伴うリスクが軽減され、歴史やすぐれた景観を活かした快適なまち

- 予測情報の提供や発生源対策等により、黄砂やPM2.5などの大気汚染物質の影響が軽減されています。
- 気候変動による洪水・熱中症などのリスクへの対策や、ヒートアイランド現象への適応策が構築されています。
- 身の回りの生活環境が良好に保たれ、歴史や景観を活かした美しいまちが実現しています。

## 分野別施策の展開

### ■低炭素のまちづくり

- ・省エネルギーの促進
- ・再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムなどの導入・活用
- ・低炭素型の都市構造及び交通体系の構築

### ■自然共生のまちづくり

- ・生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成
- ・自然からの恵みの持続的利用の促進
- ・生物多様性の認識の社会への浸透

### ■循環のまちづくり

- ・廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
- ・廃棄物の適正処理の推進
- ・水資源の有効利用の促進

### ■快適で良好な生活環境のまちづくり

- ・黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応
- ・良好な生活環境の保全
- ・気候変動への適応
- ・歴史・景観を活かした美しいまちの実現

### ■環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり

環境行動を担う人材の育成 / 地域環境力の向上

### ■環境の保全・創造に向けたしくみづくり

環境配慮のための手続きや規制等の整備・運用 / 市民・事業者の自主的な活動等に対する支援 / 環境情報の継続的な収集・発信と共有

### ■ふくおか から九州・アジアへ

近隣地域や九州・国内各地域との連携 / 国際環境協力の推進

## 計画の推進

推進体制 / 指標による進行管理

分野横断型施策の展開